

上下水道の整備状況について

上水道

上水道事業は、文化的で衛生的な生活を確保するためです。

水源のない加西市において、兵庫県、市川町、姫路市から浄水を購入し、市域が広く民家や事業所が広範囲に点在する市内全域に上水を供給するため、460 kmの配水管整備、9箇所の配水池、6箇所のポンプ場を建設しました。

平成19年3月末、供給件数16,700件、普及率は97.9%になっています。

下水道

下水道事業の目的は、快適な暮らしと地域の環境保全、公衆衛生の向上です。広い市域をカバーし、少しでも早く下水道を利用していただくために、公共下水道事業と同時に農業集落排水事業とコミュニティ・プラント事業の整備を進めてきました。

公共下水道事業は、昭和53年に着手し、処理場(小野

市)と北条町を結ぶ下水道幹線の建設に続き、平成元年から幹線と家庭を結ぶ「支線」工事を開始し、平成3年に北条町の一部で使用出来るようになりました。

その後、北条町から下里川沿いに上流の地区から下流へと整備を進め、最終平成20年度には市内全域の工事が完成する予定です。

農業集落排水事業は、平成3年に南網引地区で供用を開始して以来、主に市の南部地区を中心に19処理場の建設と排水網を整備し、平成17年度に全ての地区で工事を完了しました。

また、コミュニティ・プラント事業は、平成7年に日吉西地区で供用を開始以来、主に市の北部地区で6処理場の建設と排水網を整備し、平成15年度に全ての地区で工事を完了しました。

この結果、平成19年3月末で排水管の延長は600 km、処理場数は25施設、事業費は600億円、整備率は95%、水洗化率は72.3%となっています。

上下水道事業会計の収支見通しについて

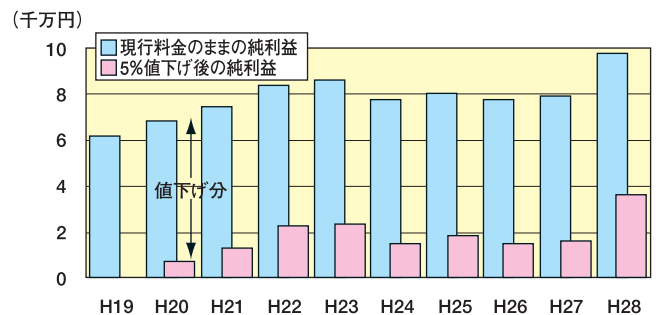
水道事業会計

水道事業の収支見通しは、工事費用の減少や維持管理の効率化などにより、今後も純利益を計上できる見込みです。健全な経営を維持できる範囲で料金値下げを検討した結果、今回5%の値下げを行います。

(図1参照)

なお、平成18年度決算では、収入は約14億800万円、純利益は1億7,300万円です。

図1 上水道事業の収支見通し



水辺の風景 (古法華自然公園)



水辺の風景 (丸山総合公園)





水辺の植物（ミズトラノオ）



水辺の風景（皿池親水公園）

下水道事業会計

下水道事業には、これまでに約600億円もの建設費がかかっています。この費用の内訳は、国庫補助金170億円、受益者負担金28億円、市費31億円、起債371億円です。

起債については返済が必要で、現在約304億円の未償還（借金）残高があり、今後元金と利息を合わせて返済していく必要があります（図2参照）。事業の完了に伴い下水道事業の未償還残高は年々減少しますが、一年間に支払う元利償還金（元金と利息）は20億円を超え、平成25年度までは年々増加していきます。

一方、現在の使用料収入は年間6億円余りです。こ

のため、市の一般会計から多額の補助（繰入）を受けていますが、一般会計の財政状況も非常に厳しく下水道事業会計の不足分を全額補助することができません。今後も一層の経営改善・効率運営に努めますが、現行の使用料のままでは平成28年度に約30億円の資金不足（図3参照）が生じ、下水道事業会計が破綻してしまいます。

そのため今回止むを得ず30%の料金改定をお願いすることになりましたが、この料金改定により資金不足額は、ほぼ現状の10億円で推移する予定です。なお、この資金不足については長期借入により資金繰りを行っています。

図2 下水道事業債未償還残高等の推移

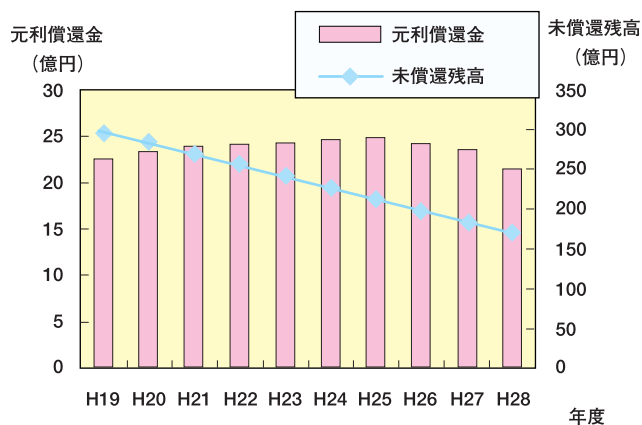


図3 下水道事業資金不足額推移

